

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2017年7月31日(当初設定日)から無期限です。	
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。	
主要投資対象	当ファンド	ピクテ・プレミアム・ブランド・マザーファンド受益証券
	マザーファンド	世界のプレミアム・ブランド企業の株式
運用方法	<p>①マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界のプレミアム・ブランド企業*の株式に投資します。</p> <p>*プレミアム・ブランド企業とは、流行を創造するデザインや最高品質などに基づくブランド力により、消費者に幸福感、優越感などの感情をもたらすことができる商品・サービス(プレミアム・ブランド商品・サービス)を提供している企業を指します。プレミアム・ブランドは、選ばれた企業のみが有するブランド力であり、一般的にプレミアム・ブランド商品・サービスは高価格でも消費者に受け入れられています。</p> <p>②実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。ただし、為替ヘッジが必要と判断した場合は為替ヘッジを行うことがあります。</p>	
主な投資制限	当ファンド	<p>①株式への実質投資割合には制限を設けません。ただし、未上場株式および未登録株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。</p> <p>②同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。</p> <p>③外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。</p>
	マザーファンド	<p>①株式への投資割合には制限を設けません。ただし、未上場株式および未登録株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。</p> <p>②同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。</p> <p>③外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</p>
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、基準価額の水準および市況動向等を勘案して委託者が決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。</p> <p>③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>	



PICTET

1805

## iTrustプレミアム・ブランド

### 運用報告書(全体版)

第3期

決算日：2020年5月11日

#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「iTrustプレミアム・ブランド」は、2020年5月11日に第3期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

### ピクテ投信投資顧問株式会社

東京都千代田区丸の内2-2-1

お問い合わせ窓口

投資信託営業部

電話番号 03-3212-1805

受付時間：委託者の営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページ：[www.pictet.co.jp](http://www.pictet.co.jp)

## ■設定以来の運用実績

決算期	基準価額			株式 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率		
(設定日) 2017年7月31日	円 10,000	円 -	% -	% -	百万円 104
1期(2018年5月10日)	11,521	0	15.2	98.0	237
2期(2019年5月10日)	11,221	0	△ 2.6	95.2	217
3期(2020年5月11日)	10,531	0	△ 6.1	96.4	201

(注1) 設定日の基準価額および純資産総額は、それぞれ当初設定価額および当初設定元本額を記載しています。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」は、実質比率を記載しています。

(注3) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定していません。

## ■当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株式 組入比率
		騰落率	
(期首) 2019年5月10日	円 11,221	% -	% 95.2
5月末	10,956	△ 2.4	95.9
6月末	11,577	3.2	96.3
7月末	11,908	6.1	96.3
8月末	11,549	2.9	96.7
9月末	11,551	2.9	98.0
10月末	12,026	7.2	99.3
11月末	12,393	10.4	98.6
12月末	12,830	14.3	98.0
2020年1月末	12,587	12.2	98.6
2月末	11,447	2.0	98.7
3月末	9,983	△11.0	94.8
4月末	10,571	△ 5.8	95.1
(期末) 2020年5月11日	10,531	△ 6.1	96.4

(注1) 騰落率は期首比です。

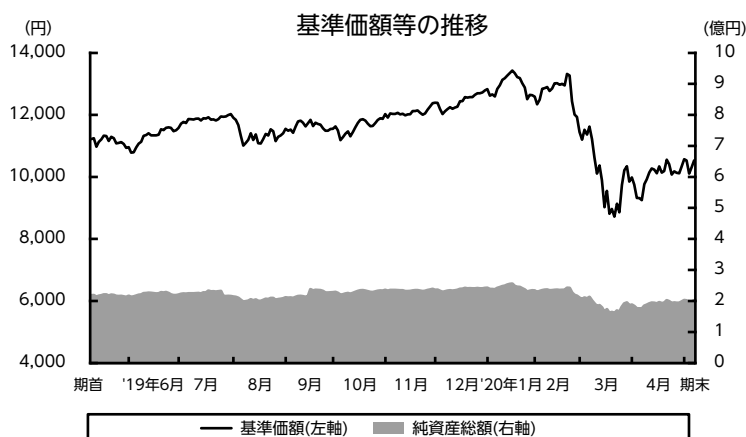
(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」は、実質比率を記載しています。

(注3) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定していません。

## ■当期中の運用状況と今後の運用方針 (2019年5月11日から2020年5月11日まで)

### 1. 基準価額等の推移

当期の基準価額は、6.1%の下落となりました。



### ○基準価額の高値・安値

期首	期中高値	期中安値	期末
19/5/10	20/1/20	20/3/19	20/5/11
11,221円	13,433円	8,719円	10,531円

### ◇主な変動要因

- 下落↓ ・円に対して米ドルやユーロなどが下落したこと
- 下落↓ ・実質的に組入れている株式の価格が下落したこと

## 2. 投資環境

- ・世界の株式市場は、期首から2019年5月末までは、米トランプ大統領が対中関税の引き上げを発表し、中国も報復措置を打ち出すなど、米中通商問題の激化などが嫌気され下落しました。6月から7月にかけては、米連邦準備制度理事会（FRB）や欧州中央銀行（ECB）の高官による緩和的な金融政策の発言が好感されたことなどから、上昇しました。8月は、米トランプ大統領による対中関税賦課の発表があり、米中貿易問題の激化への懸念などから下落しました。9月は、米中の閣僚級通商交渉再開が決定され、その進展に対する期待などから、上昇しました。その後、米中貿易交渉において部分合意がなされ、米国の対中追加関税引き上げが延期されたことや、英国の合意なき欧州連合（EU）離脱に対する回避の期待が高まったことを背景に上昇しました。12月にかけては、米中が貿易協議について第一段階の合意に至るとの期待が高まったことや英総選挙において与党保守党が勝利したことなどを背景に上昇しました。2020年1月後半には、中国において新型コロナウイルスの感染拡大が懸念され、一時株価が軟調な局面もありましたが、2月前半に、中国国内における新型コロナウイルスの感染拡大ペースに鈍化の兆しが見られたことなどから株価は持ち直す展開となりました。2月後半から3月前半にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大が世界各国に広がったことで世界経済への悪影響などが意識され、大幅に下落する展開となりました。その後期末にかけては、各国政府や中央銀行による景気下支え策への期待などから上昇しましたが、期を通じてみれば世界の株式市場は下落となりました。
- ・為替市場では、期首から2019年8月末までは、米中通商交渉の対立懸念や軟調な欧米の経済指標などからリスク回避の姿勢が強まり、円高が進行しました。9月から11月までは、米中通商協議への進展期待や欧米の中央銀行が予想通りの金融緩和を行ったものの追加的な金融緩和には慎重と受け止められたことから、米ドル高・ユーロ高が進行しました。2020年1月中旬にかけて、米中の閣僚級貿易交渉再開の決定や、米中貿易交渉が部分的に合意に至ったことなどを背景に投資家のリスク回避姿勢が後退し、対円で米ドル高・ユーロ高が進行しました。その後3月上旬にかけては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に対する懸念が広がったことなどを背景に投資家心理が冷え込み、急激に米ドル安・ユーロ安が進行しました。その後期末にかけては、米国の財政政策拡大への期待などから一時的にドル高・ユーロ高となる場面もありましたが、新型コロナウイルスの感染拡大に収束の兆しが見えない中、再び米ドル安・ユーロ安が進行しました。期を通じてみれば米ドル・ユーロは円に対して下落しました。

### 3. 組入状況

当ファンドが主要投資対象とするピクテ・プレミアム・ブランド・マザーファンド受益証券への投資比率を高位に維持してまいりました。実質組入外貨建資産については、為替ヘッジは行いませんでした。

#### <マザーファンドの組入状況>

主として世界各国の企業からプレミアム・ブランド企業\*を選別し、個別銘柄のファンダメンタルズ分析により成長力のあるプレミアム・ブランド企業の株式に投資してまいりました。

\*プレミアム・ブランド企業とは、流行を創造するデザインや最高品質などに基づくブランド力により、消費者に幸福感、優越感などの感情をもたらすことができる商品・サービス（プレミアム・ブランド商品・サービス）を提供している企業を指します。（以下同じ。）

#### ◇国・地域別組入比率

##### 【期首】

国・地域名	組入比率
米国	42.4%
フランス	29.8%
イタリア	5.7%
ドイツ	4.3%
英国	4.3%
中国	2.7%
スイス	2.7%
オーストラリア	2.2%
カナダ	1.2%
日本	0.5%

##### 【期末】

国・地域名	組入比率
米国	43.7%
フランス	25.9%
イタリア	7.6%
ドイツ	5.6%
カナダ	4.9%
スイス	3.4%
英国	2.3%
日本	2.3%
ルクセンブルグ	1.1%

国・地域別組入比率については、カナダやイタリアなどの比率が上昇しました。一方で、フランスや英国の比率が低下しました。

(注) 組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

## ◇組入上位10業種

### 【期首】

業種名	組入比率
耐久消費財・アパレル	29.3%
食品・飲料・タバコ	15.1%
消費者サービス	14.9%
家庭用品・パーソナル用品	9.6%
ソフトウェア・サービス	6.4%
自動車・自動車部品	5.3%
小売	4.5%
各種金融	4.0%
テクノロジー・ハードウェア/機器	3.5%
ヘルスケア機器・サービス	1.8%

### 【期末】

業種名	組入比率
耐久消費財・アパレル	40.1%
家庭用品・パーソナル用品	13.8%
食品・飲料・タバコ	12.4%
消費者サービス	8.4%
自動車・自動車部品	7.9%
テクノロジー・ハードウェア/機器	5.4%
各種金融	4.7%
ソフトウェア・サービス	4.0%
小売	0.3%
—	—

業種別では、耐久消費財・アパレルや家庭用品・パーソナル用品などの比率が上昇しました。一方で、消費者サービスや小売などの比率が低下しました。

(注) 組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。業種はGICS（世界産業分類基準）の産業グループに基づき表示しています。

## ◇組入上位10銘柄

### 【期首】

銘柄名	国・地域名	業種名	組入比率
VISA	米国	情報技術サービス	5.8%
ロレアル	フランス	パーソナル用品	5.7%
ナイキ	米国	繊維・アパレル・贅沢品	5.2%
ペルノ・リカール	フランス	飲料	4.8%
LVMH モエ ヘネシー・ルイ ヴィトン	フランス	繊維・アパレル・贅沢品	4.5%
アメリカン・エクスプレス	米国	消費者金融	4.0%
マリOTT・インターナショナル	米国	ホテル・レストラン・レジャー	3.7%
アップル	米国	コンピュータ・周辺機器	3.5%
エスティ ローダー	米国	パーソナル用品	3.4%
ディアジオ	英国	飲料	3.2%

### 【期末】

銘柄名	国・地域名	業種名	組入比率
ナイキ	米国	繊維・アパレル・贅沢品	6.0%
ロレアル	フランス	パーソナル用品	5.6%
アップル	米国	コンピュータ・周辺機器	5.4%
ルルレモン・アスレティカ	カナダ	繊維・アパレル・贅沢品	4.9%
エスティ ローダー	米国	パーソナル用品	4.9%
エルメス・インターナショナル	フランス	繊維・アパレル・贅沢品	4.8%
アメリカン・エクスプレス	米国	消費者金融	4.7%
エシロールルックスオティカ	フランス	繊維・アパレル・贅沢品	4.5%
フェラーリ	イタリア	自動車	4.4%
LVMH モエ ヘネシー・ルイ ヴィトン	フランス	繊維・アパレル・贅沢品	4.1%

(注) 組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。業種はGICS（世界産業分類基準）の産業に基づき表示しています。

当期末の組入上位銘柄は、

- － ナイキ : スポーツ用、フィットネス用高級シューズ、アパレルメーカー。
- － ロレアル : フランスに本拠地を置く世界的な化粧品メーカー。高級ラインではランコム、ヘレナ・ルビンスタイン等のブランドを有する。
- － アップル : パソコンや携帯通信機器、音楽プレーヤーなどデジタル家電製品の製造および関連するソフトウェアの開発、設計を手がける。
- － ルルレモン・アスレティカ : ヨガをはじめダンス、ランニング、一般フィットネス用のアパレルを製造。世界各地で事業を展開する。
- － エスティ ローダー : 世界的な化粧品メーカー。エスティ ローダー、クリニーク、ドゥ・ラ・メールなどのブランドを有する。

などとなりました。

#### 4. 収益分配金

当期の収益分配は、基準価額の水準および市況動向等を勘案し、見送りとさせていただきます。

なお、収益分配にあてなかった留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

#### ◇分配原資の内訳

(単位：円・%、1万口当たり、税引前)

項目	第3期	
	自 2019年5月11日 至 2020年5月11日	
当期分配金	-	
(対基準価額比率)	-	
当期の収益	-	
当期の収益以外	-	
翌期繰越分配対象額	1,113	

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、当ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は小数点以下を切捨てて表示しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 5. 今後の運用方針

### (1) 投資環境

プレミアム・ブランド企業は、差別化された製品やサービス、ワンランク上の経験、質の高いライフスタイルを提供しています。こうした点は今後も相対的に高い成長をもたらす原動力になるものと考えます。長期的には、世界的な旅客数の増加や新興国の消費者の購買力向上などの恩恵を受けると考えられます。こうしたプレミアム・ブランド企業は、健全な財務基盤を有し、高いキャッシュ・フロー創出力を有しています。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴い、各国で人の移動制限や都市封鎖が行われていました。緩和措置がとられつつありますが、段階的です。このような状況下では、プレミアム・ブランド企業の売上動向はマイナスの影響を受け、2020年上期決算は厳しいものとなる可能性が予想されます。消費の落ち込みだけでなく、製品や材料等の物流にも支障が出るなど供給面でも混乱がみられることなどから、2020年通期の市場コンセンサス予想も下方修正圧力が高まっています。そのような中、各国の金融緩和や財政出動などによる積極的な政策対応が金融市場に安心感を与えるものと期待しています。そして、プレミアム・ブランド企業も今回の難局を乗り越えて、来るべき回復局面では力強さを発揮すると考えます。

### (2) 投資方針

ピクテ・プレミアム・ブランド・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてプレミアム・ブランド企業の株式に投資してまいります。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。ただし、為替ヘッジが必要と判断した場合は為替ヘッジを行うことがあります。

#### <マザーファンド>

主として世界のプレミアム・ブランド企業の株式に投資してまいります。

消費者の「羨望的」となるような強力で魅力的なブランド力を確立している企業の中から銘柄を厳選して投資を行っていく方針です。特に、最高品質の製品、類い希なるサービスを提供し、今日の消費市場で重要な鍵の一つであるデジタル戦略に十分取り組んでいる企業に注目しています。同時に、持続的な成長が可能か、また、高い収益性が実現できるかなどについても注目しています。



## ■ 1万口（元本10,000円）当たりの費用明細

項目	当期 (2019年5月11日~2020年5月11日)		項目の概要
	金額	比率	
平均基準価額	11,614円	—	期中の平均基準価額（月末値の平均値）です。
(a) 信託報酬 (投信会社)	170円 (83)	1.467% (0.717)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ・ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、各種情報提供等、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(83)	(0.717)	・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続等の対価
(受託会社)	(4)	(0.033)	・ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	5	0.042	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株式会社)	(5)	(0.042)	・売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	3	0.028	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(株式会社)	(3)	(0.028)	・有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	12	0.102	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(6)	(0.048)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(6)	(0.055)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	・その他は、信託事務の処理等に要する費用
合計	190	1.639	

(注1) 上記の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、設定・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、各項目毎に小数第3位未満は四捨五入しています。

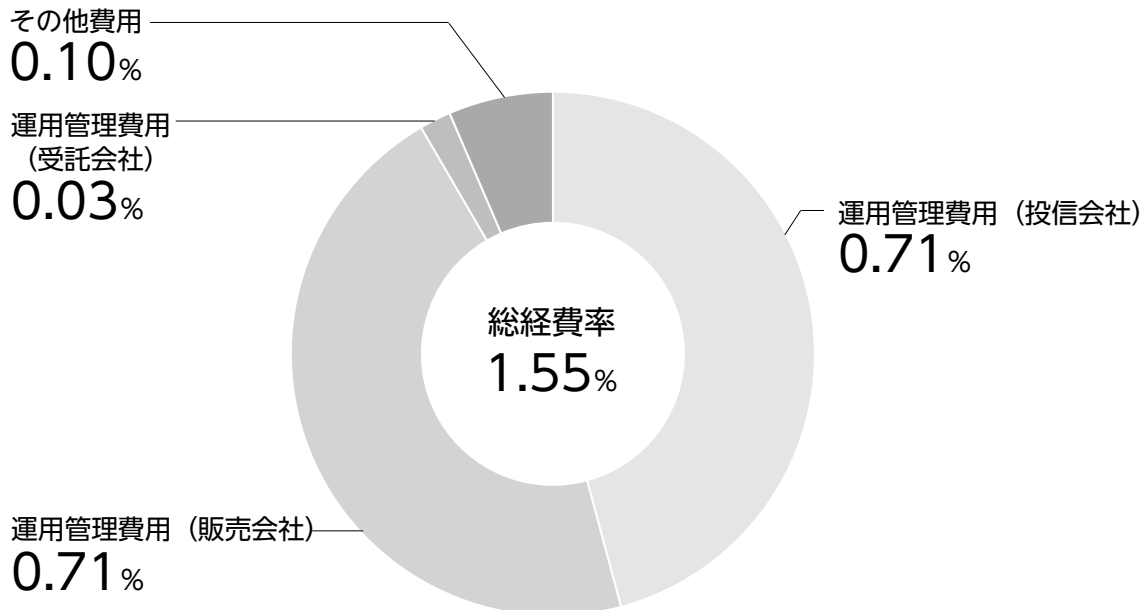
(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各金額の円未満は四捨五入しています。

## (参考情報)

### ■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.55%**です。



(注1) 上記の費用は、「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ■親投資信託受益証券の設定、解約状況 (2019年5月11日から2020年5月11日まで)

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ピクテ・プレミアム・ブランド・マザーファンド	27,250	72,250	29,394	82,060

(注) 単位未満は切り捨てています。

## ■親投資信託における株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	19,964,935千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	18,734,666千円
(c) 売買高比率(a)／(b)	1.06

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注2) 単位未満は切り捨てています。

## ■親投資信託における主要な売買銘柄 (2019年5月11日から2020年5月11日まで)

### 株式

買付				売付			
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
資生堂	93.8	769,851	8,207	VISA INC-CLASS A SHARES(アメリカ)	36	721,312	19,681
HILTON WORLDWIDE HOLDINGS IN(アメリカ)	68	753,443	11,052	BRIGHT HORIZONS FAMILY SOLUT(アメリカ)	43	710,554	16,349
ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A(アメリカ)	24	531,538	21,625	BOOKING HOLDINGS INC(アメリカ)	2	620,185	215,043
LULULEMON ATHLETICA INC(アメリカ)	21	508,844	23,607	DANONE(ユーロ・フランス)	62	563,075	8,975
BROWN-FORMAN CORP-CL B(アメリカ)	65	394,045	6,020	TREASURY WINE ESTATES LTD(オーストラリア)	378	494,289	1,305
AMERICAN EXPRESS COMPANY(アメリカ)	35	393,047	11,174	PERNOD RICARD SA(ユーロ・フランス)	22	403,273	17,820
GARMIN LTD(アメリカ)	42	387,092	9,061	APPLE INC(アメリカ)	14	399,246	28,054
ADIDAS AG(ユーロ・ドイツ)	13	368,271	27,007	MONCLER SPA(ユーロ・イタリア)	87	397,256	4,533
CHOCOLADEFABRIKEN LINDT-PC(スイス)	0.46	361,613	786,116	L'OREAL(ユーロ・フランス)	13	388,840	28,903
HERMES INTERNATIONAL(ユーロ・フランス)	4	361,433	80,515	TAL EDUCATION GROUP- ADR(アメリカ)	87	385,338	4,397

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 単位未満は切り捨てています。ただし、単位未満の場合は小数で表示しています。

## ■利害関係人との取引状況等 (2019年5月11日から2020年5月11日まで)

該当事項はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人をいいます。

■ **自社設定投資信託受益証券等の状況等** (2019年5月11日から2020年5月11日まで)

該当事項はありません。

■ **特定資産の価格等の調査** (2019年5月11日から2020年5月11日まで)

該当事項はありません。

■ **組入資産の明細** (2020年5月11日現在)

親投資信託残高

種類	期首(前期末)	当期末	
	□数	□数	評価額
	千□	千□	千円
ピクテ・プレミアム・ブランド・マザーファンド	83,153	81,009	200,507

(注) 単位未満は切り捨てています。

■ **投資信託財産の構成** (2020年5月11日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
ピクテ・プレミアム・ブランド・マザーファンド	200,507	98.7
コール・ローン等、その他	2,734	1.3
投資信託財産総額	203,241	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨てています。

(注2) ピクテ・プレミアム・ブランド・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（15,878,490千円）の投資信託財産総額（16,423,656千円）に対する比率は96.7%です。

(注3) ピクテ・プレミアム・ブランド・マザーファンドにおける外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、1米ドル=106.95円、1英ポンド=132.85円、1ユーロ=116.00円、1スイスフラン=110.20円、1デンマーククローネ=15.55円、1オーストラリアドル=69.88円、1香港ドル=13.80円、1シンガポールドル=75.67円、1南アフリカランド=5.83円です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年5月11日現在)

項目	当期末
(A)資産	203,241,092円
コール・ローン等	2,733,652
ピクテ・プレミアム・ブランド・マザーファンド(評価額)	200,507,440
(B)負債	1,737,099
未払解約金	93,667
未払信託報酬	1,583,915
未払利息	7
その他未払費用	59,510
(C)純資産総額(A-B)	201,503,993
元本	191,338,548
次期繰越損益金	10,165,445
(D)受益権総口数	191,338,548口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,531円

## ■損益の状況

当期(自2019年5月11日 至2020年5月11日)

項目	当期
(A)配当等収益	△ 1,196円
支払利息	△ 1,196
(B)有価証券売買損益	△11,503,476
売買益	5,679,934
売買損	△17,183,410
(C)信託報酬等	△ 3,313,366
(D)当期損益金(A+B+C)	△14,818,038
(E)前期繰越損益金	6,042,139
(F)追加信託差損益金	18,941,344
(配当等相当額)	( 12,743,311)
(売買損益相当額)	( 6,198,033)
(G)計(D+E+F)	10,165,445
(H)収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	10,165,445
追加信託差損益金	18,941,344
(配当等相当額)	( 12,818,961)
(売買損益相当額)	( 6,122,383)
分配準備積立金	8,482,560
繰越損益金	△17,258,459

<注記事項(当運用報告書作成時点では、監査未了です。)>  
(貸借対照表関係)

(注1) 期首元本額	193,577,136円
期中追加設定元本額	86,128,869円
期中一部解約元本額	88,367,457円
(注2) 1口当たり純資産額	1.0531円

(注1) 損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で**(C)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で**(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 第3期計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(12,818,961円)および分配準備積立金(8,482,560円)より分配対象収益は21,301,521円(10,000口当たり1,113円)ですが、当期に分配した金額はありません。

(注5) 主要投資対象であるマザーファンドにおいて、信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用(自2019年5月11日至2019年12月31日)当該マザーファンドに係る信託財産の純資産総額のうち、当ファンドに対応する部分の年率0.60%以内の額(自2020年1月1日至2020年5月11日)当該マザーファンドに係る信託財産の純資産総額のうち、当ファンドに対応する部分の年率0.80%以内の額

## <お知らせ>

該当事項はありません。

# ピクテ・プレミアム・ブランド・マザーファンド

## 運用状況のご報告

第14期（決算日：2020年5月11日）  
（計算期間：2019年5月11日～2020年5月11日）

### 受益者のみなさまへ

「ピクテ・プレミアム・ブランド・マザーファンド」は、「ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド（3ヵ月決算型）」、「ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド（適格機関投資家専用）」および「iTrustプレミアム・ブランド」が投資対象とするマザーファンドで、信託財産の実質的な運用を行っております。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第14期の運用状況をご報告申し上げます。

●当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。
主要投資対象	世界のプレミアム・ブランド企業の株式
主な投資制限	株式への投資割合…制限を設けません。 外貨建資産への投資割合…制限を設けません。

## ■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株式 組入比率	投資信託 証券比率	純資産 総額
		期中 騰落率		期中 騰落率			
	円	%		%	%	%	百万円
10期(2016年5月10日)	18,756	△20.2	16,705	△14.6	96.2	2.5	22,052
11期(2017年5月10日)	22,268	18.7	20,182	20.8	97.0	—	22,350
12期(2018年5月10日)	26,302	18.1	22,309	10.5	98.6	—	25,791
13期(2019年5月10日)	25,985	△ 1.2	22,878	2.6	95.7	—	19,792
14期(2020年5月11日)	24,751	△ 4.7	22,079	△ 3.5	96.9	—	16,326

(注) 参考指数は、MSCI世界一般消費財・サービス指数を委託者が円換算し、設定日(2006年6月30日)を10,000として指数化したものです。

## ■当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式 組入比率
		騰落率		騰落率	
(期首)	円	%		%	%
2019年5月10日	25,985	—	22,878	—	95.7
5月末	25,391	△ 2.3	21,890	△ 4.3	96.4
6月末	26,867	3.4	22,839	△ 0.2	96.6
7月末	27,675	6.5	23,438	2.4	96.4
8月末	26,872	3.4	22,344	△ 2.3	96.7
9月末	26,909	3.6	22,857	△ 0.1	98.0
10月末	28,051	8.0	23,734	3.7	99.1
11月末	28,946	11.4	24,294	6.2	99.0
12月末	30,008	15.5	24,941	9.0	98.3
2020年1月末	29,475	13.4	24,465	6.9	98.8
2月末	26,832	3.3	22,894	0.1	98.9
3月末	23,419	△ 9.9	19,439	△ 15.0	95.3
4月末	24,834	△ 4.4	22,021	△ 3.7	95.4
(期末)					
2020年5月11日	24,751	△ 4.7	22,079	△ 3.5	96.9

(注1) 騰落率は期首比です。

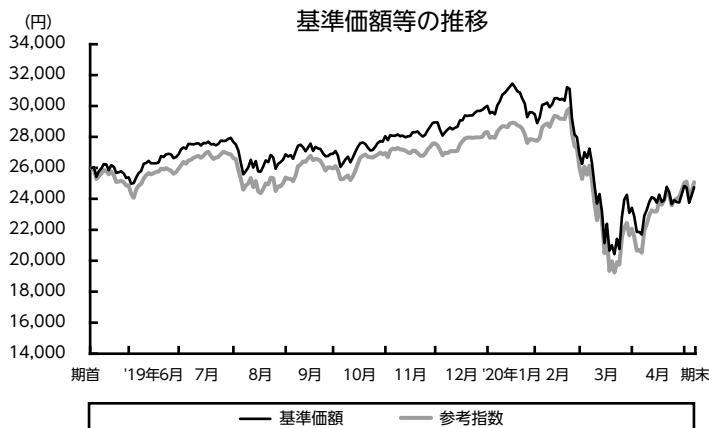
(注2) 参考指数は、MSCI世界一般消費財・サービス指数を委託者が円換算し、設定日(2006年6月30日)を10,000として指数化したものです。

MSCI世界一般消費財・サービス指数は、MSCI Inc.が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

## ■当期中の運用状況と今後の運用方針 (2019年5月11日から2020年5月11日まで)

### 1. 基準価額等の推移

当期の基準価額は、4.7%の下落となりました。



### ○基準価額の高値・安値

期首	期中高値	期中安値	期末
19/5/10	20/1/20	20/3/19	20/5/11
25,985円	31,448円	20,428円	24,751円

※参考指数は期首の基準価額に合わせて指数化しています。

### ◇主な変動要因

- 下落↓ ・円に対して米ドルやユーロなどが下落したこと
- 下落↓ ・組入れている株式の価格が下落したこと

### 2. 投資環境

・世界の株式市場は、期首から2019年5月末までは、米トランプ大統領が対中関税の引き上げを発表し、中国も報復措置を打ち出すなど、米中通商問題の激化などが嫌気され下落しました。6月から7月にかけては、米連邦準備制度理事会（FRB）や欧州中央銀行（ECB）の高官による緩和的な金融政策の発言が好感されたことなどから、上昇しました。8月は、米トランプ大統領による対中関税賦課の発表があり、米中貿易問題の激化への懸念などから下落しました。9月は、米中の閣僚級通商交渉再開が決定され、その進展に対する期待などから、上昇しました。その後、米中貿易交渉において部分合意がなされ、米国の対中追加関税引き上げが延期されたことや、英国の合意なき欧州連合（EU）離脱に対する回避の期待が高まったことを背景に上昇しました。12月にかけては、米中が貿易協議について第一段階の合意に至るとの期待が高まったことや英総選挙において与党保守党が勝利したことなどを背景に上昇しました。2020年1月後半には、中国において新型コロナウイルスの感染拡大が懸念され、一時株価が軟調な局面もありましたが、2月前半に、中国国内に



おける新型コロナウイルスの感染拡大ペースに鈍化の兆しがみられたことなどから株価は持ち直す展開となりました。2月後半から3月前半にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大が世界各国に広がったことで世界経済への悪影響などが意識され、大幅に下落する展開となりました。その後期末にかけては、各国政府や中央銀行による景気下支え策への期待などから上昇しましたが、期を通じてみれば世界の株式市場は下落となりました。

- ・為替市場では、期首から2019年8月末までは、米中通商交渉の対立懸念や軟調な欧米の経済指標などからリスク回避の姿勢が強まり、円高が進行しました。9月から11月までは、米中通商協議への進展期待や欧米の中央銀行が予想通りの金融緩和を行ったものの追加的な金融緩和には慎重と受け止められたことから、米ドル高・ユーロ高が進行しました。2020年1月中旬にかけて、米中の閣僚級貿易交渉再開の決定や、米中貿易交渉が部分的に合意に至ったことなどを背景に投資家のリスク回避姿勢が後退し、対円で米ドル高・ユーロ高が進行しました。その後3月上旬にかけては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に対する懸念が広がったことなどを背景に投資家心理が冷え込み、急激に米ドル安・ユーロ安が進行しました。その後期末にかけては、米国の財政政策拡大への期待などから一時的にドル高・ユーロ高となる場面もありましたが、新型コロナウイルスの感染拡大に収束の兆しが見えない中、再び米ドル安・ユーロ安が進行しました。期を通じてみれば米ドル・ユーロは円に対して下落しました。

### 3. 組入状況

主として世界各国の企業からプレミアム・ブランド企業\*を選別し、個別銘柄のファンダメンタルズ分析により成長力のあるプレミアム・ブランド企業の株式に投資してまいりました。

\*プレミアム・ブランド企業とは、流行を創造するデザインや最高品質などに基づくブランド力により、消費者に幸福感、優越感などの感情をもたらすことができる商品・サービス（プレミアム・ブランド商品・サービス）を提供している企業を指します。（以下同じ。）

#### ◇国・地域別組入比率

##### 【期首】

国・地域名	組入比率
米国	42.4%
フランス	29.8%
イタリア	5.7%
ドイツ	4.3%
英国	4.3%
中国	2.7%
スイス	2.7%
オーストラリア	2.2%
カナダ	1.2%
日本	0.5%



##### 【期末】

国・地域名	組入比率
米国	43.7%
フランス	25.9%
イタリア	7.6%
ドイツ	5.6%
カナダ	4.9%
スイス	3.4%
英国	2.3%
日本	2.3%
ルクセンブルグ	1.1%

国・地域別組入比率については、カナダやイタリアなどの比率が上昇しました。一方で、フランスや英国の比率が低下しました。

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

## ◇組入上位10業種

### 【期首】

業種名	組入比率
耐久消費財・アパレル	29.3%
食品・飲料・タバコ	15.1%
消費者サービス	14.9%
家庭用品・パーソナル用品	9.6%
ソフトウェア・サービス	6.4%
自動車・自動車部品	5.3%
小売	4.5%
各種金融	4.0%
テクノロジー・ハードウェア/機器	3.5%
ヘルスケア機器・サービス	1.8%

### 【期末】

業種名	組入比率
耐久消費財・アパレル	40.1%
家庭用品・パーソナル用品	13.8%
食品・飲料・タバコ	12.4%
消費者サービス	8.4%
自動車・自動車部品	7.9%
テクノロジー・ハードウェア/機器	5.4%
各種金融	4.7%
ソフトウェア・サービス	4.0%
小売	0.3%
—	—

業種別では、耐久消費財・アパレルや家庭用品・パーソナル用品などの比率が上昇しました。一方で、消費者サービスや小売などの比率が低下しました。

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。業種はGICS（世界産業分類基準）の産業グループに基づき表示しています。

## ◇組入上位10銘柄

### 【期首】

銘柄名	国名	業種名	組入比率
VISA	米国	情報技術サービス	5.8%
ロレアル	フランス	パーソナル用品	5.7%
ナイキ	米国	繊維・アパレル・贅沢品	5.2%
ペルノ・リカール	フランス	飲料	4.8%
LVMH モエ ヘネシー・ルイ ヴィトン	フランス	繊維・アパレル・贅沢品	4.5%
アメリカン・エクスプレス	米国	消費者金融	4.0%
マリOTT・インターナショナル	米国	ホテル・レストラン・レジャー	3.7%
アップル	米国	コンピュータ・周辺機器	3.5%
エスティ ローダー	米国	パーソナル用品	3.4%
ディアジオ	英国	飲料	3.2%

### 【期末】

銘柄名	国名	業種名	組入比率
ナイキ	米国	繊維・アパレル・贅沢品	6.0%
ロレアル	フランス	パーソナル用品	5.6%
アップル	米国	コンピュータ・周辺機器	5.4%
ルルレモン・アスレティカ	カナダ	繊維・アパレル・贅沢品	4.9%
エスティ ローダー	米国	パーソナル用品	4.9%
エルメス・インターナショナル	フランス	繊維・アパレル・贅沢品	4.8%
アメリカン・エクスプレス	米国	消費者金融	4.7%
エシロールルックスオティカ	フランス	繊維・アパレル・贅沢品	4.5%
フェラーリ	イタリア	自動車	4.4%
LVMH モエ ヘネシー・ルイ ヴィトン	フランス	繊維・アパレル・贅沢品	4.1%

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。業種はGICS（世界産業分類基準）の産業に基づき表示しています。

期末の組入上位銘柄は、

- － ナイキ : スポーツ用、フィットネス用高級シューズ、アパレルメーカー。
- － ロレアル : フランスに本拠地を置く世界的な化粧品メーカー。高級ラインではランコム、ヘレナ・ルビンスタイン等のブランドを有する。
- － アップル : パソコンや携帯通信機器、音楽プレーヤーなどデジタル家電製品の製造および関連するソフトウェアの開発、設計を手がける。
- － ルルレモン・アスレティカ : ヨガをはじめダンス、ランニング、一般フィットネス用のアパレルを製造。世界各地で事業を展開する。
- － エスティ ローダー : 世界的な化粧品メーカー。エスティ ローダー、クリニーク、ドゥ・ラ・メールなどのブランドを有する。

などとなりました。

## 4. 今後の運用方針

### (1) 投資環境

プレミアム・ブランド企業は、差別化された製品やサービス、ワンランク上の経験、質の高いライフスタイルを提供しています。こうした点は今後も相対的に高い成長をもたらす原動力になるものと考えます。長期的には、世界的な旅客数の増加や新興国の消費者の購買力向上などの恩恵を受けると考えられます。こうしたプレミアム・ブランド企業は、健全な財務基盤を有し、高いキャッシュ・フロー創出力を有しています。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴い、各国で人の移動制限や都市封鎖が行われていました。緩和措置がとられつつありますが、段階的です。このような状況下では、プレミアム・ブランド企業の売上動向はマイナスの影響を受け、2020年上期決算は厳しいものとなる可能性が予想されます。消費の落ち込みだけでなく、製品や材料等の物流にも支障が出るなど供給面でも混乱がみられることなどから、2020年通期の市場コンセンサス予想も下方修正圧力が高まっています。そのような中、各国の金融緩和や財政出動などによる積極的な政策対応が金融市場に安心感を与えるものと期待しています。そして、プレミアム・ブランド企業も今回の難局を乗り越えて、来るべき回復局面では力強さを発揮すると考えます。

### (2) 投資方針

主として世界のプレミアム・ブランド企業の株式に投資してまいります。

消費者の「羨望的」となるような強力で魅力的なブランド力を確立している企業の中から銘柄を厳選して投資を行っていく方針です。特に、最高品質の製品、類い希なるサービスを提供し、今日の消費市場で重要な鍵の一つであるデジタル戦略に十分取り組んでいる企業に注目しています。同時に、持続的な成長が可能か、また、高い収益性が実現できるかなどについても注目しています。

## ■ 1万口（元本10,000円）当たりの費用明細

項目	当期 (2019年5月11日~2020年5月11日)		項目の概要
	金額	比率	
平均基準価額	27,106円	—	期中の平均基準価額（月末値の平均値）です。
(a) 売買委託手数料 (株 式)	11円 (11)	0.041% (0.041)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ・売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税 (株 式)	8 (8)	0.028 (0.028)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ・有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他費用 (保 管 費 用)	13 (13)	0.048 (0.048)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・その他は、その他信託事務の処理等に要する諸費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	
合計	32	0.117	

(注1) 上記の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含みます）は、設定・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含みます）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、各項目毎に小数第3位未満は四捨五入しています。

(注3) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注4) 各金額の円未満は四捨五入しています。

■当期中の売買および取引の状況 (2019年5月11日から2020年5月11日まで)

株式

		買付		売付		
		株数	金額	株数	金額	
国内	上場	千株 93	千円 769,851	千株 47	千円 323,880	
	アメリカ	百株 3,888 (66)	千米ドル 41,942 (-)	百株 5,393 (-)	千米ドル 54,250 (15)	
外国	イギリス	75 (30)	千英ポンド 246 (90)	1,186	千英ポンド 1,899	
	ユーロ	ドイツ	246 (461)	千ユーロ 3,912 (-)	281	千ユーロ 2,292
		イタリア	2,454	4,348	1,618	3,751
		フランス	841	11,843	2,039	22,557
		オランダ	179	2,682	169	2,420
	スイス	95	千スイスフラン 4,075	238 (-)	千スイスフラン 4,046 (14)	
	オーストラリア	-	千オーストラリアドル -	3,786	千オーストラリアドル 6,631	
	香港	11,777	千香港ドル 19,323	1,152	千香港ドル 1,319	

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 単位未満は切り捨てています。

(注3) ( )内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれていません。

## ■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	19,964,935千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	18,734,666千円
(c) 売買高比率(a)／(b)	1.06

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注2) 単位未満は切り捨てています。

## ■主要な売買銘柄 (2019年5月11日から2020年5月11日まで)

### 株式

買付				売付			
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
資生堂	93.8	769,851	8,207	VISA INC-CLASS A SHARES(アメリカ)	36	721,312	19,681
HILTON WORLDWIDE HOLDINGS IN(アメリカ)	68	753,443	11,052	BRIGHT HORIZONS FAMILY SOLUT(アメリカ)	43	710,554	16,349
ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A(アメリカ)	24	531,538	21,625	BOOKING HOLDINGS INC(アメリカ)	2	620,185	215,043
LULULEMON ATHLETICA INC(アメリカ)	21	508,844	23,607	DANONE(ユーロ・フランス)	62	563,075	8,975
BROWN-FORMAN CORP-CL B(アメリカ)	65	394,045	6,020	TREASURY WINE ESTATES LTD(オーストラリア)	378	494,289	1,305
AMERICAN EXPRESS COMPANY(アメリカ)	35	393,047	11,174	PERNOD RICARD SA(ユーロ・フランス)	22	403,273	17,820
GARMIN LTD(アメリカ)	42	387,092	9,061	APPLE INC(アメリカ)	14	399,246	28,054
ADIDAS AG(ユーロ・ドイツ)	13	368,271	27,007	MONCLER SPA(ユーロ・イタリア)	87	397,256	4,533
CHOCOLADEFABRIKEN LINDT-PC(スイス)	0.46	361,613	786,116	L'OREAL(ユーロ・フランス)	13	388,840	28,903
HERMES INTERNATIONAL(ユーロ・フランス)	4	361,433	80,515	TAL EDUCATION GROUP-ADR(アメリカ)	87	385,338	4,397

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 単位未満は切り捨てています。ただし、単位未満の場合は小数で表示しています。

## ■利害関係人との取引状況等 (2019年5月11日から2020年5月11日まで)

該当事項はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人をいいます。

## ■特定資産の価格等の調査 (2019年5月11日から2020年5月11日まで)

該当事項はありません。

## ■組入資産の明細 (2020年5月11日現在)

### (1) 国内株式 上場株式

銘柄	期首 (前期末)	当期末	
	株数	株数	評価額
	千株	千株	千円
化学(100.0%) 資生堂	11.5	57.8	375,873
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	11 1	57 1銘柄 375,873 <2.3%>

(注1) 銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率です。

(注2) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

### (2) 外国株式 上場、登録株式

銘柄	期首(前期末)	当期末		業種等	
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額		邦貨換算金額
(アメリカ・・・ニューヨーク市場)	百株	百株	千米ドル	千円	
AMERICAN EXPRESS COMPANY	618	795	7,119	761,473	各種金融
BRIGHT HORIZONS FAMILY SOLUT	434	—	—	—	消費者サービス
BROWN-FORMAN CORP-CL B	—	654	4,317	461,788	食品・飲料・タバコ
FARFETCH LTD-CLASS A	438	—	—	—	小売
HILTON WORLDWIDE HOLDINGS IN	—	645	4,659	498,357	消費者サービス
ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A	365	428	7,418	793,457	家庭用品・パーソナル用品
LEVI STRAUSS & CO- CLASS A	146	—	—	—	耐久消費財・アパレル
LIVE NATION ENTERTAINMENT IN	385	—	—	—	メディア・娯楽
NEW ORIENTAL EDUCATIO-SP ADR	189	—	—	—	消費者サービス
NIKE INC CL-B	1,127	1,018	9,210	985,029	耐久消費財・アパレル
TAL EDUCATION GROUP- ADR	876	—	—	—	消費者サービス
TIFFANY & CO	93	—	—	—	小売
VF CORP	468	459	2,677	286,337	耐久消費財・アパレル
VAIL RESORTS INC	145	—	—	—	消費者サービス
VISA INC-CLASS A SHARES	652	326	6,036	645,645	ソフトウェア・サービス
(アメリカ・・・米国店頭市場)					
APPLE INC	310	267	8,285	886,160	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
BOOKING HOLDINGS INC	28	—	—	—	小売
LULULEMON ATHLETICA INC	123	316	7,522	804,519	耐久消費財・アパレル
MARRIOTT INTERNATIONAL-CL A	485	370	3,231	345,616	消費者サービス
STARBUCKS CORP	600	633	4,929	527,233	消費者サービス
TESLA INC	102	64	5,307	567,624	自動車・自動車部品
2U INC	251	—	—	—	ソフトウェア・サービス
GARMIN LTD	—	427	3,474	371,608	耐久消費財・アパレル
通貨小計	株数・金額 銘柄数<比率>	7,844 20	6,407 13	74,192 —	7,934,851 <48.6%>

銘柄	株数	期首(前期末)	当期末		業種等
		株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(イギリス…英国市場)	百株	百株	千英ポンド	千円	
DIAGEO PLC	1,385	1,022	2,840	377,331	食品・飲料・タバコ
ASTON MARTIN LAGONDA GLOB-WI	718	-	-	-	自動車・自動車部品
通貨小計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,103 2	1,022 1	2,840 -	377,331 <2.3%>
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ		
ADIDAS AG	162	274	5,708	662,188	耐久消費財・アパレル
PUMA SE	51	365	2,198	255,000	耐久消費財・アパレル
国小計	株数・金額 銘柄数<比率>	213 2	640 2	7,906 -	917,188 <5.6%>
(ユーロ…イタリア)					
BRUNELLO CUCINELLI SPA	283	588	1,599	185,587	耐久消費財・アパレル
MONCLER SPA	760	585	1,917	222,456	耐久消費財・アパレル
DAVIDE CAMPARI-MILANO SPA	-	1,447	1,041	120,784	食品・飲料・タバコ
PIRELLI & C. SPA	742	-	-	-	自動車・自動車部品
国小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,785 3	2,621 3	4,558 -	528,828 <3.2%>
(ユーロ…フランス)					
L'OREAL	388	308	7,831	908,439	家庭用品・パーソナル用品
LVMH MOET HENNESSY LOUI V SA	216	163	5,766	668,935	耐久消費財・アパレル
PERNOD RICARD SA	502	340	4,650	539,461	食品・飲料・タバコ
REMY COINTREAU	234	125	1,254	145,493	食品・飲料・タバコ
HERMES INTERNATIONAL	76	98	6,714	778,868	耐久消費財・アパレル
KERING	71	78	3,519	408,272	耐久消費財・アパレル
ACCOR SA	421	-	-	-	消費者サービス
ESSILORLUXOTTICA	389	578	6,403	742,812	耐久消費財・アパレル
ORPEA	275	-	-	-	ヘルスケア機器・サービス
DANONE	472	-	-	-	食品・飲料・タバコ
SMCP SA-WI	684	841	374	43,478	小売
国小計	株数・金額 銘柄数<比率>	3,732 11	2,534 8	36,515 -	4,235,761 <25.9%>
(ユーロ…オランダ)					
FERRARI NV	411	421	6,170	715,763	自動車・自動車部品
国小計	株数・金額 銘柄数<比率>	411 1	421 1	6,170 -	715,763 <4.4%>
通貨小計	株数・金額 銘柄数<比率>	6,142 17	6,217 14	55,151 -	6,397,542 <39.2%>
(スイス…スイス市場)			千スイスフラン		
CIE FINANCIERE RICHEMON-REG	429	283	1,582	174,412	耐久消費財・アパレル
CHOCOLADEFABRIKEN LINDT-PC	2	4	3,398	374,483	食品・飲料・タバコ
通貨小計	株数・金額 銘柄数<比率>	431 2	288 2	4,980 -	548,896 <3.4%>



銘柄	期首(前期末)		当期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア・・・オーストラリア市場) TREASURY WINE ESTATES LTD	百株 3,786	百株 -	千オーストラリアドル -	千円 -	食品・飲料・タバコ
通貨小計	株数・金額 3,786 銘柄数<比率> 1	- -	- -	- <-%>	-
(香港・・・香港市場) L'OCCITANE INTERNATIONAL SA	-	10,625	千香港ドル 13,238	182,694	家庭用品・パーソナル用品
通貨小計	株数・金額 - 銘柄数<比率> -	10,625 1	13,238 -	182,694 <1.1%>	-
合計	株数・金額 20,309 銘柄数<比率> 42	24,560 31	- -	15,441,316 <94.6%>	-

(注1) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率です。

(注3) 株数・評価額の単位未満は切り捨てています。

(注4) -印は組入れがありません。

## ■投資信託財産の構成 (2020年5月11日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 15,817,190	% 96.3
コール・ローン等、その他	606,466	3.7
投資信託財産総額	16,423,656	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨てています。

(注2) 当期末における外貨建純資産 (15,878,490千円) の投資信託財産総額 (16,423,656千円) に対する比率は96.7%です。

(注3) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、1米ドル=106.95円、1英ポンド=132.85円、1ユーロ=116.00円、1スイスフラン=110.20円、1デンマーククローネ=15.55円、1オーストラリアドル=69.88円、1香港ドル=13.80円、1シンガポールドル=75.67円、1南アフリカランド=5.83円です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年5月11日現在)

項目	当期末
(A)資産	16,571,681,970円
コール・ローン等	567,249,569
株式(評価額)	15,817,190,043
未収入金	180,013,029
未収配当金	7,229,329
(B)負債	245,524,564
未払金	245,523,102
未払利息	206
その他未払費用	1,256
(C)純資産総額(A-B)	16,326,157,406
元本	6,596,070,572
次期繰越損益金	9,730,086,834
(D)受益権総口数	6,596,070,572口
1万口当たり基準価額(C/D)	24,751円

## ■損益の状況

当期(自2019年5月11日 至2020年5月11日)

項目	当期
(A)配当等収益	191,995,646円
受取配当金	188,309,654
受取利息	4,231,288
支払利息	△ 545,296
(B)有価証券売買損益	△ 802,335,421
売買益	2,150,519,929
売買損	△ 2,952,855,350
(C)その他費用等	△ 9,156,914
(D)当期損益金(A+B+C)	△ 619,496,689
(E)前期繰越損益金	12,175,634,641
(F)追加信託差損益金	224,188,530
(G)解約差損益金	△ 2,050,239,648
(H)計(D+E+F+G)	9,730,086,834
次期繰越損益金(H)	9,730,086,834

<注記事項>

(貸借対照表関係)

(注1) 期首元本額	7,616,751,054円
期中追加設定元本額	138,411,470円
期中一部解約元本額	1,159,091,952円
(注2) 1口当たり純資産額	2,4751円
(注3) 期末における元本の内訳	
ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド(3ヵ月決算型)	6,514,871,851円
ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド(適格機関投資家専用)	188,887円
iTrustプレミアム・ブランド	81,009,834円

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含まず。

(注2) 損益の状況の中で(C)その他費用等にはその他費用に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## <お知らせ>

該当事項はありません。